

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所がともに暮らす地域住民の一員として、引き続き地域で必要とされる役割や活動を担う事が望まれる。	地域住民の一員として地域で必要とされる役割や活動を担う。	トライやるウィークの導入(中学生) 学校行事への参加 ボランティアの受け入れ 認知症対応の啓蒙	12ヶ月
2	7	管理者だけではなく職員も利用者一人ひとり成年後見人制度の必要性について話し合えるよう職員の理解度を上げ温度差を少なくする学習の機会を設けてはどうか。	成年後見人制度や権利擁護について職員にも制度の理解を促していく。	オリエンテーションで成年後見制度や権利擁護についての研修を実施する。 年1回権利擁護についての研修を開催する。	12ヶ月
3	1	入居者様が障害を負う前の生活に出来るだけ近づけるよう支援を行ってはいるが、全員に行えているわけではないため、さらなる工夫を要する。	要望をおっしゃっていただける方の希望を可能な限り実現する。 要望をおっしゃられない方については過去の生活歴から楽しみを抽出し提案、実行する。	希望・要望を入居者様より伺う、または生活歴から楽しみを抽出して提案し、ご家族様にも協力を仰がせていただく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。